

【瑞浪市学校教育における教育指導の重点】

**【研修】**

主体的で確かな指導力を身に付ける研修  
 ○特別支援教育、ICT 教育に関わる研修の充実

**【教科指導】**

学力向上に向けたきめ細かな指導の推進  
 ○「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業改善  
 ○タブレット端末を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図る実践の開発

**【瑞浪小学校の教育目標】**

じょうぶでよく働く子 仲よく助け合う子 進んでよく学ぶ子

**【児童の実態】**

○課題意識をもち、意欲的に取り組むことができる児童が多い。  
 ○仲間との対話を通して、自分の考えを広げたり深めたりできる児童が増えてきた。  
 ○本時の学びを基に、さらなる追究への意欲をもつ児童が増えてきた。  
 ▲一斉学習で課題解決の見通しをもつことができるが、個でもつことに弱さがある。  
 ▲適切な解決方法の選択・決定をして追究できる児童は少ない。

**【めざす児童の姿】**

・問いや願いから課題意識をもち、解決の見通しをもつ姿。  
 ・自己の学習状況を把握し、学び方を駆使して解決の方法を選択・決定することで、学びを調整しながら、考えを再構築して追究する姿。  
 ・自己の学びを振り返り、伸びや変容、改善点、教科のよさを実感し、次の学びにつなげる姿。

**【全校研究主題】**

## 問い、続ける子

～学び方を身に付け、課題解決に向かう児童の育成～

**【研究仮説】**

発達の段階や教科の特性に応じた学び方(思考に関するスキル・方法に関するスキル)を体系化し、単元・題材を通して身に付けさせたい学び方を単位時間ごとに位置付けた指導計画を作成する。個別の学びと協働的な学びを往還して児童が課題意識をもって解決方法を選択・決定し、自らの追究を振り返ることができる指導・援助を工夫することで、児童が自己の学習状況を把握しながら考えを再構築し、学び方の習得状況や有用性を実感したり、次時の学び方に生かしたりすることができるようにすれば、学び方を身に付け課題解決に向かう「問い続ける子」を育成することができるだろう。

研究内容2

**指導計画の工夫**

- ①発達の段階や教科の特性に応じた学び方の明確化
  - ・発達の段階や教科の特性に応じた、単元や単位時間で身に付けさせたり、働かせたりする学び方(思考に関するスキル・方法に関するスキル)を明確にする。
- ②学び方を身に付ける過程の明確化
  - ・児童が単元を通して学び方をどのように身に付け、そのためにどのような手立てを打つのかを単元・題材指導計画に位置付ける。
- ③学習過程の工夫
  - ・課題解決に向けて解決方法を選択・決定できるように、個別の学びと協働的な学びの双方を盛り込んだ学習過程を仕組む。

研究内容3

**指導・援助の工夫**

- ①課題意識をもたせる課題化の工夫
  - ・問いや願いをもとに、児童の内発的な課題意識を引き出し、解決の見通しをもたせるための課題化を工夫する。
- ②児童が学び方を調整し、考えを再構築するための工夫
  - ・児童が自らの学習状況を把握し、考えを再構築するための指導方法を工夫する。
- ③ふりかえりの工夫
  - ・本時の追究をふり振り返り、学び方の有用性を実感したり、次時の追究に生かしたりできるようにする。

研究内容1

**発達の段階に応じた学び方の体系化**

・低・中・高学年の発達の段階に合わせた学習過程と、思考・方法に関するスキルを体系化する。